

## フォトセンター

### 【業務紹介】

フォトセンターは、亀田メディカルセンター職員の学会、研究、研修、教育活動の支援を主な目的として設置されており、現在1名の職員で業務を行っている。

以下に主な業務内容について記す。

#### 1)スライド制作 (15件 180枚)

・学会発表、講演、研究会、その他各種発表等で必要となるスライドの制作

#### 2)プリント制作(約750件 2,200枚)

・ポスター発表、投稿、検査記録等で必要となるプリント(写真)の制作

・プレゼンテーションソフト等からのプリントアウト、ビデオからの静止画出力等

#### 3)写真撮影(約250件)

・手術、患者記録、施設紹介、職員の顔写真等の写真撮影。これらの他に、新生児のサービス用写真の撮影等

#### 4)ビデオ撮影、編集等(撮影:約90件、編集等:約800件) ・手術、患者記録、施設紹介、学会発表、講演、研究会、教育、研修用ビデオの撮影、編集、メディア変換、ダビング等

#### 5)画像のスキヤニング、画像・映像処理、ファイル変換等(約350件)

・プレゼンテーション作成やファイリング(アナログ資産のデジタル化)を主目的としたフィルム・スライド等のスキヤニング、画像処理、目的に応じた動画・静止画のファイル作成やファイル形式の変換等となっている。

学会発表等のプレゼンテーションは、ほぼ100%がPC利用となり、スライド作成業務は限りなくゼロに近づいているが、機材等は完備しているので今後もサポートは継続したいと考えている。

作業自体はPC上でのデジタル処理が大部分を占めているが、プリントアウトやビデオへのダビング等の出力部分でのアナログ処理はまだ多い。また、ビデオ編集についても、HDDの容量の関係などからアナログ処理を必要としている。このことが作業を複雑なものにしているため、何とか改善を図りたいと考えている。

この1、2年の傾向として、講演、セミナー、教育用ビデオの撮影、編集依頼の比率が増加しており、これらの納品形態は、ビデオ、DVD、データ形式と多種にわたっている。これらを効率よく処理することが今後の課題といえる。また、学会でのポスター発表用の大判サイズのプリントアウトの要望も多く、条件が整えば対応して行かなければならないと考える。この他にも職員の顔写真等のスタジオ撮影が日常的な業務となり、こちらへの対応も充分なものにしたい。

業務の内容が年々変化してきており、今後ともより柔軟な対応を心がけてゆきたいと考えている。

文責：浅沼雄一